

## 平成29年度全国学力・学習状況調査結果及び自校の分析結果等について

たつの市立揖保川中学校

### (1) 自校の分析（教科に関する調査結果、生徒質問紙等）

#### 【教科に関する調査結果より】

##### ①全体を通して

- 国語A（知識）は、県・全国を上回っている。特に「話す・聞く能力」・「読む能力」・「言語についての知識・理解・技能」に関するポイントは高いが逆に、「書く能力」に関するポイントが低い。
- 国語B（活用）は、県・全国をわずかに下回っており、今後の課題である。特に、「話す・聞く能力」・「書く能力」に関するポイントが低い。
- 数学A（知識）は、全国を上回っているが、県を下回っている。特に領域では「資料の活用」が、観点では「数量や図形などについての知識・理解」のポイントが低い。
- 数学B（活用）は、全国と同等であるが、県を下回っている。特に領域では「数と式」が高く、「図形」が低い。観点では「数量や図形などについての知識・理解」のポイントが高いが、「数学的な見方や考え方」のポイントが低い。

##### ②各教科毎の分析（成果と課題、つまずき、誤答傾向、記述式の無回答等）

	各教科ごとの分析結果
国語A (知識)	平均正答率は、県・全国を上回っている。特に、「話す・聞く」・「読む」・「言語についての知識・理解・技能」に関するポイントは高いが、「書く」に関するポイントが低い。
国語B (活用)	平均正答率は、県・全国を少し下回っている。特に、「話す・聞く」・「書く」に関するポイントが低い。
算数・数学A (知識)	平均正答率は、全国を上回っているが県を下回っている。特に領域では「資料の活用」が、観点では「数量や図形などについての知識・理解」のポイントが低い。
算数・数学B (活用)	平均正答率は、全国と同等、県を下回っている。特に領域では「数と式」が高く、「図形」が低い。観点では「数量や図形などについての知識・理解」のポイントが高いが、「数学的な見方や考え方」のポイントが低い。

## 【学習環境や生活習慣等に関する生徒質問紙調査より】

### ①全体を通して

- 学校は楽しい場所で、友達に会うことを楽しいと感じている生徒が多い。
- しなければならないことや与えられたことに関しては、取り組もうとする。
- 勉強の必要性は感じているが、授業の予習・復習や、自主的・計画的な家庭学習には結びついていない。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする生徒が少ない。
- 自分自身のよいところを自覚できず、自分に自信が持てない生徒が多い。
- 人前で自分の考えや意見を発表することが得意でない生徒が多い。
- 地域の行事に積極的に参加し、将来は人の役に立ちたいと考えている生徒が多い。
- 授業の中で目標（めあて・めあて）が示されておらず、学習内容の振り返りができていないと感じている生徒が多い。

### ②肯定的な回答が特に多かった項目

- 学校に行くのは楽しいと思います。
- 学校で、友達に会うのは楽しいと思います。
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、嬉しかったと感じている。
- 今住んでいる地域の行事に参加しています。
- 人の役に立つ人間になりたいと思います。

### ③肯定的な回答が特に少なかった項目

- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しています。
- 自分には、よいところがあると思います。
- 将来の夢や目標を持っています。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしています。
- 家で、学校の授業の予習・復習をしています。
- 人が困っているときは、進んで助けています。
- 1、2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思います。
- 1、2年生のとき受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思います。
- 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思っている。

## 【その他】

与えられたことや指示されたことは最後までやろうとするが、自分の夢や目標が定まらず、自分から困難に立ち向かっていこうとする生徒が少ない。その結果、物事をやり遂げた達成感などの成功体験が十分でないため、自分のよい点が認識できていなかったり、自信が持てないことに影響していると考えられる。

## (2) 「改善策（教科に関する調査結果・生徒質問紙を受けて）」

### ①教科に関する調査結果を受けての改善策（指導方法の工夫改善等を含む）

- 国語・数学とも全体的に、主として知識より活用の平均正答率が低いので、知識の伝達だけでなく具体的で、身近な生活と関連づけた教材で学習を進める。
- 体験的な学習、グループ活動を取り入れた学習、課題解決的な学習等いわゆるアクティブ・ラーニングを意識した学習を進める。
- これまで以上に基礎・基本の定着をはかる学習指導を心がける。
- 基本的な学習習慣を身につけさせ、自主的に家庭学習等ができるように小中が連携して習慣化を図る。
- 放課後における補充学習等推進事業の積極的な活用。
- 教師が、今まで以上に「分かる授業」・「できる授業」を心がけ、生徒の「分かりたい」・「できるようになりたい」という気持ちに応える学習指導の工夫・改善をする。

### ②児童生徒質問紙を受けての改善策

- 家庭学習の習慣化を意識した課題をあたえる。（毎時間の課題、週末課題等）
- 定期テスト前におけるカウンセリング週間と質問教室の充実
- 「たつのがんばりタイム」の活用
- 機会を捉え、学校や家庭・地域等において、自分の夢や目標に向けて、困難に立ち向かっていく気持ちや態度の育成を図る。
- 授業の中での「めあて」の提示や学習内容の「振り返り」を徹底する。